

公益社団法人 日本建築士会連合会会長
アルセッド建築研究所代表
三井所清典

テーマ「地域の資源・地域の力でこれからの木造公共建築にどう取り組むか」

なぜ、今、公共木造建築に取り組むはじめるか

- 森林資源・木材に恵まれた国土
- 木材資源の有効利用は地域経済の活性化と地球環境保全に寄与

なぜ、今の建築技術で木造建築の実現が困難か

- 木造建築をめぐる経緯と背景
- 設計・工事監理・工事の難しい理由

なぜ、現在公共団体で木造建築施設の発注が難しいか

- 公共団体での木造建築施設の企画段階の課題
- 設計・工事監理・木材供給・工事の発注管理段階の課題

公共木造建築にはどこから取り組み始めるといいか

- 文部科学省の「木造校舎の構造設計標準—JIS A-3301」の改定
- JIS A3301 で示されているモデルプランと展開の可能性

川上から川下まで官民連携による公共木造建築の推進

- 関連異業種の相互理解と官民連携の必要性
- 地域内で木造公共施設推進する連合体をつくる意義